

活動資金ご協力者(社)一覧

●和歌山市		檉畑 直尚	200万円	●新宮市	
下林 正大	36万円	南方 真紀	50万円	(有)熊野路測量設計	30万円
(株)ワカヤマスレティックス	29万3,610円	(株)浅川組	50万円	三港産業(株)	10万円
(株)なな電機	12万円	和歌山文化協会 茶道部	10万円	●岩出市	
小田 喜三	10万円	辻岡 勉	100万円	藤本 敏治	10万円
(公社)和歌山県労働基準協会	10万円	(株)紀陽銀行	50万円	(有)和歌山動物医療センター西川動物病院	10万円
(株)オークワ	30万円	紀高コンサルタント(株)	10万円	●かつらぎ町	
丸山 昌三	50万円	和歌山県日赤有功会	50万円	山本 佳代	20万円
和歌浦観光(株)	10万円	大弘建材(株)	50万円	アップランド(株)	40万円
(株)南北	50万円	力武 祐治	10万円	●日高川町	
(有)久保工業	10万円	セイコーメディカル(株)	10万円	(株)柏木建設	10万円
(株)幸福建設	20万円	竹中 信夫	10万円	●印南町	
アズマハウス(株)	10万円	(株)大黒	50万円	(株)ナカエ	10万円
平野 眞幸	50万円	(株)新家工務店	30万円	中江 三智代	30万円
山本産業(株)	10万円	環産業(株)	50万円	アイエムティー(株)	10万円
(株)みちうえ	20万円	正木 芳子	30万円	●有田川町	
(有)亀井産業	10万円	田伏 真悠	50万円	石田 稔	10万円
島 三博	50万円	●海南市		(株)フォーラル	10万円
(株)希組	10万円	名手 孝和	12万円	藤林 範員	50万円
(株)貴志	24万円	玉川 由利夫	28万円	●みなべ町	
浅川組運輸(株)	50万円	●有田市		浜田 正子	20万円
マルセ繊維工業(株)	10万円	(有)雑賀組	100万円	●上富田町	
(株)紀和	20万円	(株)西村物産	100万円	前田 剛	202万円
紀 充子	50万円	●田辺市		●大阪府	
和歌山電工(株)	50万円	菅根測量(株)	20万円	田中 幸民	10万円
紀陽ダイキン空調(株)	50万円	寺岡 千里	10万円		
菱岡工業(株)	100万円	中根機械(有)	30万円		
(株)KEGキャリア・アカデミー	10万円	三宅 真帆子	10万円		
森工業(有)	30万円	中根 輝子	50万円		
森 博康	15万円	中根 眞富	10万円		
森 恵造	15万円	(株)アセロラフーズ	30万円		
田中 義啓	150万円	初山 幸子	20万円		

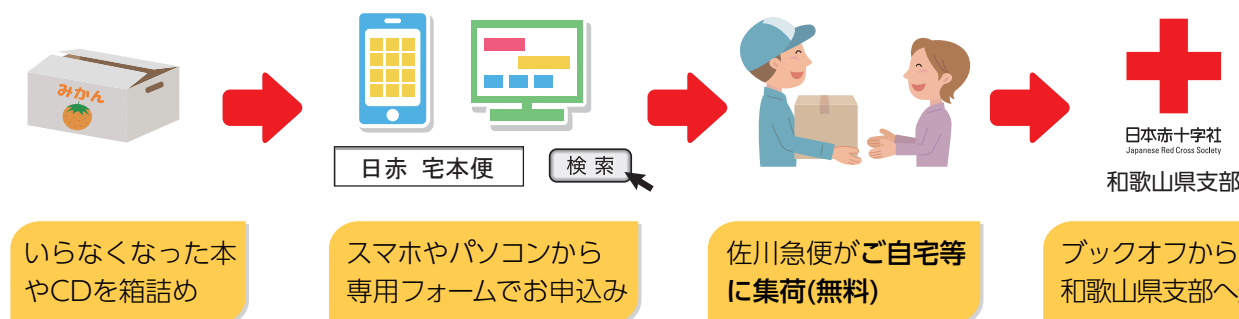


古本等でのご寄付

ボランティア宅本便（ブックオフ）を利用して 日赤和歌山県支部に活動資金のご協力をお願いします。

ボランティア宅本便とは、読み終わっていらなくなった本、聞き飽きたCD、遊び終わったゲームソフト等をブックオフが買い取り、その代金が日本赤十字社和歌山県支部に寄付されるシステムです。

日本赤十字社 和歌山県支部 × BOOK・OFF Online お申し込みはとっても簡単!!



※2019年1月～12月に、10万円以上のご寄付をいただき、掲載を
ご了承いただいた個人・法人および団体等を掲載しています。

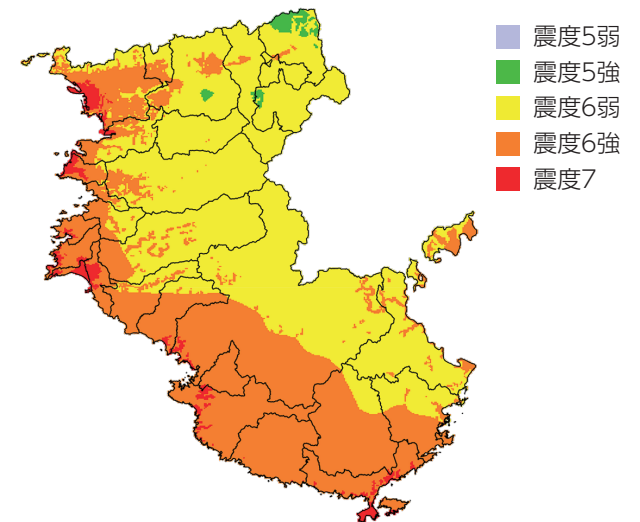
日赤和歌山

日本赤十字社 和歌山県支部
Japanese Red Cross Society

2020年2月

南海トラフ地震(M9.1)

30年以内の発生確率は約80%



南海トラフ地震震度予測図
(出展:和歌山県地震被害想定調査報告 平成26年3月)

	和歌山県	全国
死者	約9万人	約23万人
避難者数	約45万人	約950万人

南海トラフ地震に対する対応
整備のために、活動資金へのご協力をお願いします。

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 「2020年日本赤十字社啓発ポスター」

ごあいさつ

平素は赤十字事業の推進に格別のご支援、ご協力をいただいておりますことを厚く御礼申し上げます。昨年も異常気象による九州北部を中心とする豪雨、台風第15号、台風第19号などの大災害が頻発し、日本各地に大きな被害をもたらしました。

日本赤十字社では、苦しんでいる人を救うという「人道」のもと、いち早く全社を挙げて被災者における医療救護や救援物資の配分など様々な活動を行ってまいりました。

一方、日本赤十字社和歌山県支部は、近い将来必ず発生し、甚大な被害を及ぼすと言われている「南海トラフ地震」に対して、救護班員の養成・研修及び救護資材や備蓄品の整備などの活動を日々すすめています。

これらの日本赤十字社の活動を推進していくためには、皆様方からの継続的なご支援が必要不可欠となります。

何卒、赤十字の趣旨をご理解いただき、尚一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

日本赤十字社和歌山県支部長 仁坂 吉伸

お問い合わせ

日本赤十字社 和歌山県支部
Japanese Red Cross Society

〒640-8137 和歌山市吹上二丁目1番22号
TEL 073-422-7141 FAX 073-422-7148
ホームページ: <http://www.wakayama.jrc.or.jp/>



日本赤十字社は、
「苦しんでいる人を救うことを続ける」ために
このような活動を行っております。

国内災害救護



避難された方に声をかける日赤救護班員

災害時に必要とされる救護を迅速に行うため、訓練、物資の整備、人材育成など、常に災害に対応できる体制を整え、地震や台風、豪雨、火事などの災害が発生した場合は、いち早く救護班などを被災地に派遣し、救護活動を行います。

日本赤十字社は、このような救護班を赤十字病院の災害救護訓練を受けた医師、看護師などを中心に全国で489班、和歌山県で7班を編成しております。

国際活動



災害や紛争、病気などに苦しむ人々を救うため、世界最大のネットワークを活かして、緊急時の救援や復興支援、予防活動に取り組みます。



モザンビークサイクロン救援事業に従事する
日本赤十字社和歌山医療センター医師

救急法等の講習



身近な人を救うため、とっさの手当てや日常生活での事故防止など、健康安全に関する知識・技術の普及と啓発を行います。



心肺蘇生とAEDを使った救命処置を指導する
赤十字救急法指導員

看護師等の養成



赤十字精神に基づき国際人道法や災害看護を学び、より豊かな人間性と看護に関する幅広い知識・能力を備えた人材を育成します。



和歌山赤十字看護専門学校での戴帽式

青少年赤十字



未来を担う青少年が実践活動を通して自ら「気づき・考え・実行」できる学びの機会を提供し、世界の平和と人道の実現を目指します。



車いすの操作を学ぶ
青少年赤十字加盟校の小学生

赤十字ボランティア



「困っている・苦しんでいる人の役に立ちたい」という思いを持つ同志が、その思いを結集し、全国でさまざまな赤十字活動を行います。



赤十字運動月間での啓発活動を行う
和歌山市大新赤十字奉仕団

日本赤十字社の活動にご協力頂いた場合は、下記のとおり
「税制上の優遇措置」や「表彰制度」を設けております。



税制上の優遇措置(寄付金控除等)

赤十字の活動資金にご協力いただいた場合は、税制上の優遇措置が受けられます。

個人：確定申告することで、所得税や住民税※の控除が受けられます。
 ※住民税のうち市町村民税の控除については、九度山町を除く県内全市町村で適用されます。
 (その年の寄付金の合計額が2,000円以上必要です)

法人：寄付金の額を損金に算入することができます。

表彰制度

【日本赤十字社の表彰制度】

区 別	表 彰 基 準
銀色有功章	一時又は累計で、20万円以上を納められた個人・法人等
金色有功章	一時又は累計で、50万円以上を納められた個人・法人等
日本赤十字社社長感謝状	金色有功章受章後、一時又は累計で、50万円以上を納められた個人・法人等



銀色有功章



金色有功章(個人)



社長感謝状

【国の表彰制度】

区 別	表 彰 基 準
厚生労働大臣感謝状	一時又は同一年度内に累計で、100万円以上を納められた個人、又は300万円以上を納められた法人
紺綬褒章	一時又は分納により、500万円以上を納められた個人、又は1,000万円を納められた法人



厚生労働大臣感謝状



紺綬褒章

遺産・相続財産等のご寄付

近年、「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」、あるいは大切な方を亡くされたご遺族から「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」という尊いお申し出が増えていきます。

お申し出される方々の事情は様々ですが、ご自身や故人の意思を社会のために役立てることを目的に、安心できる方法で信用できる団体に寄付したいという思いは共通しています。

日本赤十字社では、「遺言によるご寄付(遺贈)」、「相続財産のご寄付」及び「ご香典のご寄付」などの相談窓口を設置し、このような尊いご意志にお応えしています。

詳細を記した右記のパンフレットをご用意しております。

日本赤十字社へのご寄付には相続税がかかりません。

